

(土石流被害の防止による評価)

事業名		復旧治山(通常)	事業箇所	甲州市	塩山上萩原	地区名	コテ沢(こてさわ)	(区分)	国補
(1)事業概要						(3)事業の妥当性評価		妥当	妥当でない
①課題・背景		<p>本計画箇所は、甲州市塩山上萩原裂石地区に流入する一級河川重川の左支流に位置している。近年の集中豪雨により溪流の荒廃が顕著となり、下流への土砂流出の恐れが高まったため、土砂流出防止対策を早急を実施し、保全対象の保護を図る必要がある。</p>				①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か)		○	
						②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか)		○	
②整備目標・効果						③経済妥当性		○	
□主要目標		<p>○土石流被害の防止 保全対象 人家20戸 国道280m 土砂整備率 (現況)6%<70% ※ 災害実績 無 ※ 重要公共施設 有(避難所 交流保養センター) ※ (第一次緊急輸送道路 国道411号線) ※</p> <p>(※ 評価基準値)</p>				費用便益費 便益(B)/費用(C)= 2.14 >1.0 ・便益(B)= 296 百万円 ・費用(C)= 138 百万円			
□副次目標		-				④事業実施・規模の妥当性		○	
□副次効果		○被災時の被害波及の防止(第一次緊急輸送道路 国道411号線)				⑤整備手法の有効性		○	
						⑥環境負荷への配慮		○	
						⑦事業計画の熟度		○	
						・地元甲州市より強い要望あり <妥当性評価> ・7項目すべて妥当であることから、妥当と判断			
(2)整備内容と整備量						(4)事業間優先度評価			
①整備内容		谷止工3基				・貢献度ランク: a 副次効果ランク: 1 優先度評価: S I			
②整備期間		平成30年度～平成32年度				(5)総合評価		○	
③総事業費		150百万円(国費 68百万円(1/2) 県費 82百万円(1/2))				・(3)及び(4)の結果から「最優先」に実施			
④全体計画		平成30年度 谷止工1基 30百万円 平成31年度 谷止工1基 60百万円 平成32年度 谷止工1基 60百万円				【事業位置図等】			
⑤既整備内容・期間・事業費		昭和37年度 谷止工1基 2百万円							